

エ 参考資料

(7) 検証授業 I

情報の活用と情報モラル (第1時/全3時間)

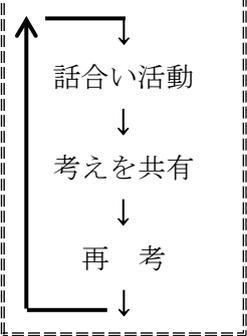
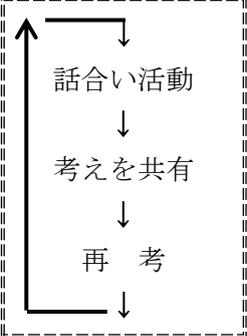
本時の目標

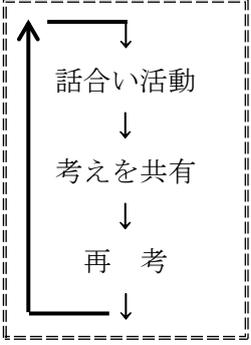
- ・現代社会で起こっているICT機器を発端としたトラブルに目を向け、何が問題なのかを意欲的に捉えることができるようにする。
- ・話し合い活動に参加し、他者の意見を理解することで、考えを適切な表現できるようにする。

本時の展開

評価：B…「おおむね満足できる」状況，A…「十分満足できる」状況

学習活動	時	指導上の留意点及び支援の工夫	評価規準【 】と方法()
1 本時の学習内容を知る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・「モラル」の概要を説明する。 ・ワークシート No1 ①の「モラル」について生徒に記入させる。 ・記入した意見を基に、班内で意見を発表させ「モラル」という言葉の理解が個々で違うことに気付かせる。 ・「ルール」という意見が出てくると予想されるので、それを取り上げ、「モラル」と「ルール」の意味の違いに気付かせる。 	
2 情報モラル5つの柱について考える。 ・ワークシート No1 ②に情報モラル5つの柱を記入する。		<ul style="list-style-type: none"> ・「情報社会の倫理」について説明し、自己の発信した情報で世の中に大きな影響を与える可能性があることに気付かせる。 ・「法の理解と順守」について説明し、コンピュータを扱う上でも様々な法律(著作権・肖像権等)が関係していることに気付かせる。 ・「安全への知恵」について説明し、ネット上には様々な危険(架空請求・個人情報流出)があることに気付かせる。 ・「情報セキュリティ」について説明し、パスワードの設定や管理について、安易に考えていると情報の流出やなりすましなど悪用される可能性があることに気付かせる。 ・「公共的なネットワーク社会の構築」について説明し、公共的な意識をもち、適切な判断が必要であることを気付かせる。 	

<p>・ICT機器の長所・短所について考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <pre> graph TD A[話し合い活動] --> B[考えを共有] B --> C[再考] C --> A </pre> </div> <p>・携帯依存チェックシートを記入させる。</p> <p>3 SNSへの画像投稿について考える。</p> <p>・班で話し合い、他者の意見も交え、更に考えを深める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <pre> graph TD A[話し合い活動] --> B[考えを共有] B --> C[再考] C --> A </pre> </div>	<p>35分</p>	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>ICT機器の長所・短所について考える</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班でICT機器の長所を考えさせ、他者の意見も交え、考えを深めるように声を掛ける。 <p>[予想される意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでも電話，メール，ネットができる。 ・写真，動画が撮れる。 ・支払い機能がある。 など <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の中での発言を拾い，数名に発表させる。 ・現代社会においてICT機器が重要な役割を果たしていることに気付かせる。 ・班でICT機器の短所を考えさせる。 <p>予想される意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器代金，通信料金が高い。 ・機器を使った犯罪が多い。 ・携帯依存，視力低下が考えられる。 など <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動の中での発言を拾い，数名に発表させる。 ・現代社会においてICT機器が様々なトラブルの原因になっていることに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に携帯依存度を自覚させるために，班でもお互いに依存度を確認させ，安易な利用がないか考えさせる。 <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>安易な画像投稿について考える</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に問題となった投稿画像を表示し，何が問題なのかを班で話し合わせる。 ・話し合い活動の中での発言を取り上げ，数名に発表させ，板書する。 ・話し合う中で出た意見をワークシート No 1 ④に記入させる。 	<p>ICT機器の普及により，特有の問題が発生していることについて考えている。 【関】 (観察・発表)</p> <p>B 社会事象を捉えた意見を発表している。</p> <p>A 社会事象を適切に捉えた意見を発表している。</p>
---	------------	---	--

<p>4 ネットいじめについて考える。</p> <p>・班で話し合い，他者の意見も交え，更に考えを深める。</p> 		<p style="text-align: center; border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;">見えない人とのつながりを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使い，掲示板への書き込みが原因になった，ネットいじめについて考えさせる。 ・Q1・Q2・Q3を個人で記入した後，班で話合わせる。 ・話し合う中で出た意見をワークシートに記入させる。 	<p>ネット社会も現実の社会も考え方が同じであることについて表現している。 【思】 (ワークシートNo2の記述)</p> <p>Bモラル的な問題として捉えた記述がある。</p> <p>A情報機器の特性を踏まえた記述(無責任な発言ができる・消せないなど)がある。</p>
<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>・授業を振り返り，情報モラルの理解を深める。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・現実の社会で許されない行為は，ネット社会でも同じであることに気付かせる。 ・ICT機器でのやり取り(相手が見えない状況)であっても，相手を思いやることを忘れないことを押さえる。 	